

会議録	
会議名	平成３０年度 第１回善通寺市総合計画審議会
開催日時	平成３０年１１月１６日（金） ９：３０～１１：１５
開催場所	善通寺市役所 ３階 大会議室
出席者	（出席委員） 村上前会長、末吉副会長、水口委員、香川委員、大西委員、丸岡委員、 小野委員、川西委員、近藤委員、田中委員、西山委員、塩田委員 （欠席委員） 安藤委員、山根委員、森川委員
議題	第５次善通寺市総合計画の進行管理について
事務局	総務部長、政策課長、香川課長補佐、林係長、林主事 防災管理課長、保健課長、子ども課長、高齢者課長、農林課長、 商工観光課長、教育総務課長、生涯学習課長
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
総務部長	新委員の紹介 水口委員、小野委員、近藤委員 挨拶
村上前会長	挨拶
政策課長	欠席者の報告、審議会成立の宣言
林係長	第５次善通寺市総合計画進行管理表について説明
A委員	東京都の児童虐待死の話が、昨日今日のニュースで盛んに取上げられており、善通寺の名前も頻繁に出ている。この件については、丸亀にある中讃保健福祉事務所（児童相談所）が中心ということで、善通寺市としては、あまり関与していなかったという認識でよいのか。 色々な問合せもあったかと思うが、これまでどのように対応してきたのか、また、このような事例に対して今後どのように対応していくのか。
子ども課長	本件については、本年１月に児童が転出した際、転出後に、香川県の児童相談所と東京都の児童相談所の間の引継ぎ、また、警察との情報共有が十分にできていなかった、と新聞報道されている。 転出前については、主に児童相談所が保護と支援を実施していたが、本市として、児童相談所から情報提供を受け、一時保護期間中以外に子ども・家庭支援センターの利用を促したり、主任児童委員に見守りをお願いしたりしていた。 該当児童に限らず、要保護児童などへの対応として、要保護児童対策地域協議会を

発言者	議事の概要及び発言の要旨
子ども課長	設置しており、児童相談所、警察、主任児童委員、学校関係者などに参加してもらい、情報の共有や連携した支援を行っている。 該当児童についても、児童相談所が主に関わりながら、要保護児童対策地域協議会として対応していたが、残念なことに、転出後に亡くなってしまった。 今後は、要保護児童対策地域協議会にて、従来に増して関係機関と情報の共有を密にし、関係機関がそれぞれの役割を果たしながら、要保護児童の保護や支援に当たっていきたいと考えている。
B 委員	市政に関する情報提供の充実について、具体的な事例を教えてほしい。 会議録の公開について、どの程度の審議会において公開されているか。 議事録（会議録）について、どの程度の審議会において公開されているか。
政策課長	市政に関する情報提供については、市の広報紙、HP（Webサイト）により、できる限りの情報提供に努めている。
総務部長	市のHPについては、平成23年～平成24年頃にリニューアルを行っており、掲載内容の充実を図っている。成果指標を見ても、その辺りから閲覧者数が増加している。
政策課長	審議会の公開については、部長会議等において、個人情報扱う会議以外は原則公開とするよう、周知徹底している。その際には、市議会議員等へ開催の通知をしている。 議事録について、政策課で所管している審議会等については、全て公開しているところである。他課が所管している審議会等について、まだ公開できていないものについては、公開するよう調整していきたいと考えている。
B 委員	審議会の公開について、市議会には通知されているようだが、HP等で市民にも通知すべきではないか。 また、議事録の公開について、できるだけ全ての審議会でも公開してほしい。
会長	会議の公開について、非公開であるが故に活発な意見交換が期待できることもあるかもしれない。公開が原則とのことであるが、どんな会議を公開し、どんな会議を非公開とすべきか、市の方でよく検討してもらいたい。
C 委員	情報公開条例に基づく開示請求について、どれくらいの実績があるのか。
政策課長	開示請求の件数について、手元に資料がないため、すぐにお答えすることができない。担当の総務課に問合せ、後ほど回答させていただきたい。

発言者	議事の概要及び発言の要旨
D 委員	学校給食の充実について、地元産品を取り入れた給食の実施回数が数値目標として掲げられているが、給食センターが1市2町で共同運用されることになったことで、市独自で指標を持ち判断することが可能なのか。 最近、歩き遍路をしている外国人もよく見かけるようになったが、中国や東南アジアを中心とする外国人観光客への対策をどのように考えているのか。 ごみのリサイクルについて、家庭から出されるごみのうち、リサイクルされる割合が下がっているが、今後も当初の目標を維持し続けるのか。 また、リサイクルされるゴミの割合は、どのように算出されているのか。
教育総務課長	学校給食の充実について、新給食センターにおいても地元産品を取り入れた給食を提供する予定であるが、具体的な内容については協議中である。 そのため、指標をどのように扱うかについて、新給食センターにおける地元産品の取扱いの協議状況をみながら、今後検討していきたい。
商工観光課長	インバウンドによる外国人観光客の増加に加え、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや、2023年の空海ご誕生1250年行事を見据え、平成29年度に中国語版（台湾向け）の観光パンフレットを作成し、今年度は英語版の観光パンフレットを作成中である。 また、善通寺市観光協会のHP作成ということで、外国語に対応した「空海ナビ」というコンテンツを制作中である。
総務部長	リサイクルされるゴミの割合については、市で回収したゴミの総量に対するリサイクルゴミの割合であるが、生ゴミの週2回収集を実施したことなどにより、生ゴミの減量化が進まず、結果的に低下したものと考えられる。 また、委員ご指摘のとおり、市内外のスーパーなどの民間事業者が設置したリサイクルコーナーに家庭ゴミを搬入していることも、率の低下に関連していると思われる。
政策課長	情報公開条例に基づく開示請求について、件数が確認できたため、お答えする。平成28年度が1件、29年度が4件となっている。29年度が増加している理由としては、請求権者について、29年度から、市民や市内の事業所に勤務している者などの制限を撤廃したことが影響していると考えられる。
E 委員	市民主体のまちづくりの推進について、コミュニティ活動の推進、また、コミュニティ活動の推進とあるが、それぞれ具体的にどのような事業を進めているのか。
政策課長	コミュニティ活動の推進としては、地域提案型事業として、地域の各種団体が主体的に行う独自の事業について提案をいただき、実施しているところである。 また、自治会などの地域の各種団体を統一的な形で運営できるコミュニティについて、導入を検討しているが、まだ具体的にお示しできる段階ではないため、この場でご説明することができない。

発言者	議事の概要及び発言の要旨
政策課長	コミュニティ施設の充実については、地域提案型事業において、小学校や公民館といった既存施設について、各種団体が行う事業に有効活用することを目指しており、新たに施設を建設するという事業ではない。
A 委員	生涯学習社会の確立について、図書館の充実とあるが、現在の図書館は狭く、蔵書数も少ない。 図書館については、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用しているので、ぜひ、広くて蔵書数の多い図書館を目指してほしい。 農林業の振興について、新規就農者を支援する事業も大切だが、今話題となっている外国人の雇用について、善通寺市ではどのように対応していく予定なのか。
政策課長	図書館については、新図書館整備基本構想を策定し、市HP等で公開しているところであるが、図書館の広さや蔵書数に関する市民からの要望も多いことから、計画段階ではあるが、床面積について倍増、蔵書数についても倍増を目指している。 また、読み聞かせ用のスペースや小さな子ども用のスペースについても、導入を検討している。
農林課長	外国人の就農について、第5次総合計画の中に明記されてはいないが、今後重要な案件となってくるので、法改正の内容に応じて、本市としても対応していく。
B 委員	図書館の整備について、国立国会図書館が所蔵している書籍等で著作権の問題が解決されているものについて、地方の公立図書館との間でデータでのやりとりが可能となっている。 香川県内では、県立図書館とまんのう町立図書館が実施しているので、善通寺市も検討してはどうか。
総務部長	今後、検討を進める。
村上会長	他に質問等がないようなので、次に、平成32年度までの実施計画について審議する。
林係長	善通寺市第5次総合計画の実施計画について説明
A 委員	住宅・市街地の整備において、香川県に対する中谷川の改修要請とあるが、その状況についてお尋ねする。
政策課長	中谷川は2級河川であり、県が管理しているため、継続して改修を要請している。ただ、予算的な問題もあり、県としては、中谷川が流入している弘田川の下流側からの改修を重点的に進めている。 現在、河口から山科付近まで、拡幅や蛇行の是正などの改修が進んでいる。

発言者	議事の概要及び発言の要旨
B 委員	コミュニティ活動の推進について、（仮称）地域自治協議会の設置の提唱については、第5次総合計画の当初から実施計画に掲載されていたものか。 また、この協議会は法定の地域自治区とは違うものだと思うが、どのような形態を想定しているのか。
政策課長	（仮称）地域自治協議会については、第5次総合計画の当初から掲載しており、法定の自治区ではなく、任意団体を想定している。 具体的には、自治会などが中心となり、環境推進連合会などの各種団体の上部組織として、地区単位でそれぞれの地区に合った活動を統一的に運営・調整していく協議会の設置を提唱するものである。
B 委員	総合計画は10年間という長期に渡る計画であるため、当初に計画していた事業であって、その実施が難しくなったり、検討を取りやめる案件も出てくると思われる。 例えば枠配分予算の導入であれば、このまま継続して検討するのか、検討自体を取りやめるのか、というように、はっきりと判断する必要があるのではないかと。 子育て支援の充実において、児童環境づくり推進事業の実実施計画が全て横線となっているが、詳細を教えてください。
政策課長	枠配分予算については、ご指摘のとおり、実施が難しい状況ではあるが、できれば実施をしたいということで、今後も検討を続けたいと考えている。
子ども課長	児童環境づくり推進事業について、第5次総合計画を策定した段階においては、児童環境づくり推進委員会及び要保護児童対策地域協議会にかかる事業であったが、平成27年度に子ども子育て支援法が施行され、児童環境づくり推進委員会が子ども子育て支援会議へと変更となったことにより、横線の表示となっている。 ただ、要保護児童対策地域協議会に関する部分については、予算措置はないものの、継続実施しているため、横線表示では分かりにくいことから、今後の実施計画において、別記するなどして分かりやすく表示する。
D 委員	今年、私が所属している自治会で大きな火事が発生し、広い通りから奥に入った道幅の狭い場所であったため、消火栓が近くになく消火が大変であった。 市内には、他にも消火活動が困難な場所があると思うが、そのような場所での消火活動に対して、どのように検討されているのか。 また、小型ポンプ付積載車整備事業について、このような場所での消火活動に有効なものであるか。
政策課長	消火栓について、水道管の老朽化に伴う移設や新設の際に見直しを行っているところであるが、既存の水道管が細い場所においては水圧が低く、また、道路の幅が狭いなど、地域によって、消火活動が困難な場所が存在する。 消防本部においては、そのような場所の把握に努めるとともに、火災が発生した場合に、どのように消火活動に当たるべきかを個別に検討している。 また、小型ポンプ付積載車整備事業では、消防本部及び各消防分団に小型ポンプ付積載車を配備しており、経年劣化等に対応するため、計画的に順次更新しているところである。なお、平成29年度の実績としては、2台を更新している。

発言者	議事の概要及び発言の要旨
村上会長	B委員からご意見があったように、当初計画した内容について、どのように見直していくのかということ、しっかりと検討する必要があると思う。 他に意見がないようなので、実施計画の審議はこれで終了する。
村上会長	審議内容は終了したが、その他に何かあるか。
政策課長	第5次総合計画の事業年度が平成32年度で終了することに伴い、新たな計画の策定についてご説明申し上げたい。
林係長	平成33年度を初年度とする新たな総合計画の策定について、策定作業を平成31年度と32年度に分け、平成31年度は、第5次総合計画の達成状況の確認及び分析、庁内各課へのヒアリングの実施、人口ビジョンの作成など、新計画を策定するための基礎調査を実施する予定である。 また、新計画における成果指標と目標値作成の資料とするため、市民約2,000人を対象としたアンケートの実施を検討している。 それらの基礎調査結果を基に、平成32年度において、新計画における、基本構想や基本計画に該当する部分を策定する予定である。
村上会長	他に意見等が無いようなので、これをもって閉会とする。